



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名： N C ホールディングス株式会社
代表者名： 代表取締役社長 吉川 勝博
(コード： 6236 東証第一部)
問合せ先： 管理本部 部長 岡田 邦壯
電話番号： 03-6859-4611

平成 29 年 3 月期の連結業績予想、配当予想および経営方針に関するお知らせ

平成 28 年 4 月 1 日、単独株式移転の方式により日本コンベヤ株式会社の完全親会社として設立された N C ホールディングス株式会社 (以下、当社) の平成 29 年 3 月期の業績予想、配当予想および経営方針に関して以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

当社の属する機械産業は、不安定な為替動向にさらされておりますが、国内需要はコンベヤ関連の公共事業を中心に比較的堅調に推移するものと考えております。立体駐車装置関連は再開発による商業施設向け設備の納入が増加し、メンテナンスも堅調で推移し、また、新事業である太陽光システム関連の受注の拡大が見込まれます。このような事業環境を勘案し、平成 29 年 3 月期の連結業績予想は下記のとおりといたします。

(単位：百万円)

平成 29 年 3 月期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	14,000	300	300	200	31 円 17 銭

2. 平成 29 年 3 月期の配当予想

平成 28 年 4 月 1 日に発表いたしました『「N C ホールディングス株式会社」設立および持株会社体制移行後のグループ経営体制のお知らせ』のとおり、単独株式移転の方式により当社は設立され、同日付で東京証券取引所市場第一部銘柄として上場されました。これもひとえに株主様をはじめ、多くの方々からご支援、ご高配の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、この度の会社設

立および東京証券取引所市場第一部銘柄上場を記念いたしまして、平成 29 年 3 月期の期末配当において 1 株当たり 5 円の記念配当を実施させていただくことと致しました。この結果、平成 29 年 3 月期の 1 株当たり期末配当は、普通配当 10 円とあわせて 15 円となる予定であります。

年間配当金			
	第 2 四半期末	期末	合計
平成 29 年 3 月期	0 円 00 銭	15 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (記念配当 5 円 00 銭)	15 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (記念配当 5 円 00 銭)

なお、本件につきましては、平成 29 年 6 月開催の当社定時株主総会に付議する予定であります。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、日本コンベヤ株式会社を完全子会社とする持株会社として平成 28 年 4 月 1 日に発足しました。

当社グループの日本コンベヤ株式会社は、昭和 24 年の創業以来半世紀以上にわたり、大型コンベヤのトップメーカーとして、大容量、長距離、垂直、カーブなど各種コンベヤを開発し、納入してまいりました。これらの大型コンベヤは、機能性と大量輸送を実現し、幅広い分野にわたって欠かせない設備として、国内市場のみならずアジア圏をはじめ海外約 30 カ国において、ご活用いただいております。このコンベヤ分野で培ってまいりましたノウハウを活かして、昭和 63 年にエレベータ式立体駐車装置を開発し、主力事業に育成し、平成 18 年には大規模地下式等で実績豊富な日立造船株式会社のパーキングシステム事業部門を友好的 M&A により事業統合し、当社連結子会社「エヌエイチパーキングシステムズ株式会社」として再スタートいたしました。また、平成 25 年にはキャリアスタッフネットワーク株式会社を株式交換により当社連結子会社とし、システム開発・人材派遣業に進出。さらに平成 27 年 10 月には太陽光発電事業のショールームを立ち上げる等拡大を進めております。

今後は、当社のホールディングス体制のもと、既存事業の成長に加え、新規ビジネスへの本格的進出、新規事業の創造推進を行うことでグループとしてさらなる成長を目指すとともに、戦略と事業を分離することでこれら多種多様な事業をグループ全体として効率よく経営できる体制を整備し、グループ企業価値を向上させてまいります。グループ会社それぞれの企業価値の最大化を図ることを目的とし、今後お互いの経営資源を有効活用していくことにより事業領域の拡大を目指してまいります。

(2) 目標とする経営指標

目標とする経営指標に関しましては、現在作成中であります。内容が確定次第、公表す

る予定であります。

(3) 利益分配に関する基本方針

配当の基本方針は、将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対して極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることと致します。毎事業年度における配当の回数についての基本的な方針は、原則、期末配当の年1回とします。

(4) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境および今後の見通しにつきましては、現在、政府主導の施策や堅調な企業収益改善を背景とする設備投資の増加が見られるものの、為替相場や原油価格の急激な変動、建設業における労働者不足の課題等があり、海外市場動向も考慮すると不安要素があります。

そうした中で、当社グループは主力事業の技術開発とコストの見直しを進め、製品面、価格面で競争力を強化させます。

コンベヤ事業では、連結子会社「日本コンベヤ株式会社」において、地下トンネルにおいて掘削土砂を地上に垂直搬送できる「スネークベルコン」による搬送能力の向上性能を、国内の都市部や山間部の大型地下トンネル案件に積極的に提案していきます。また、成長が期待される東南アジアの現地営業拠点を強化し、現地と密着した販売強化策を実施します。既納入設備の部品販売やソリューション販売も強化します。

立体駐車場装置事業では、連結子会社「エヌエイチパーキングシステムズ株式会社」において、製品ラインナップの充実により、都市再開発案件や新設案件において受注獲得を強化し、コストの見直しも含めて採算性向上を図ります。また、安定的収入となるメンテナンス事業の拡大とソリューションの提案を積極的に行い、ストックビジネスを強化していきます。さらに、新しい付加価値商品・サービス事業を開発し、駐車場関連ビジネスの拡大をめざす所存であります。

新しい事業として、連結子会社「日本コンベヤ株式会社」において、平成27年に立ち上げた太陽光発電事業が売上高急拡大していることから、今後、主力事業と位置づけ、本格的な事業展開をしてまいります。納入先の見直し等も行いコストの削減、収益面と価格面で競争力を強化させてまいります。

*本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上